

戦後 80 年

鍋倉 伸子

今年は戦後 80 年になります。会員も戦後生まれが大半となり、幼少時の戦争の記憶がある会員には、改めてお話を伺いたいものです。

静岡県は 1945 年（主に 6 月・7 月）の空襲で、静岡市と旧清水市合わせて約 2000 人、浜松市は約 2000 人～ 3000 人以上（正確な数字不明）の死者、多数の負傷者が出て、多くの家が焼失しました。サイパンを発った B29 が、富士山を目印に飛来し、帰りに余った焼夷弾を静岡に捨てて行ったとも言われています。静岡では、空襲体験者がその体験を語り継ぐために、文集を作成し体験画を募集し、焼夷弾などさまざまな遺物を保存展示する活動を行ってきました。その活動の中心は、第一世代と言うべき体験者から、親の体験を聞いて育った第二世代に移ってきていて、記憶と記録を如何に継承し、伝えて行くかが課題です。

昨年、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。受賞をよかったと思いつつ、被爆の苦悩をずっと持ち続けてきた人たちのこと、今世界で戦禍の下にある人たちのことを改めて考えさせられました。

敗戦で何が変わったか、変わらなかったか。大学女性（婦人）協会はアメリカ政府の教育顧問として来日したルル・ホームズ博士の尽力により、新制女子大学の前身である 8 つの専門学校卒業生の有志が集まり 1946 年創立。静岡支部は 1947 年設立。

大学女性協会初代会長 藤田たき（1898－1993）の短歌を思い出します。

「敗戦の痛みもしばし忘れたり 花風吹きあび投票に行く」女性の初選挙（1946・4月）から79年です。



【ご紹介】原川ゆう さん（2024 年度 JA UW 社会福祉奨学生）



静岡県立大学大学院薬科学専攻修士を経て 2025 年 4 月には大阪に転居され製薬メーカー（アストラゼネカ株式会社）でトランスレーショナルサイエンティストとして、医薬品の承認申請などに関わるお仕事に就かれるそうです。いつの日か支部でお話を聞く機会が得られることを期待しつつ、ご活躍をお祈りします。

お知らせ

今後の予定

【静岡支部総会】

日時：令和 7 年 4 月 20 日（日）
11：00 ～

場所：アイセル 21（静岡市女性会館）

【全国総会】

日時：令和 7 年 5 月 18 日（日）～ 19 日（月）
場所：新潟市 万代シルバーホテル
（新潟市中央区万代 1 丁目 3－3）



編集後記

あちらこちらで、新社会人の姿を見かけます。これまで学んだことを発揮して、充実した社会人生活を送って欲しいと思います。皆さんどんな夢を抱いているでしょうか。若者が大きく成長できる社会の構築。年齢、性別を超えて、誰もが働きやすい社会。「幸福度日本一」を目指す静岡県知事。政治の力も大きいと思うのです。



編集担当 佐藤 成子

2025 年 4 月発行

一般社団法人

News Letter 大学女性協会静岡支部

ニュースレター

発行責任者／支部長 山下いづみ



【支部長挨拶】

2025 年度がスタートいたしました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2024 年度は、女性キャリアアップ事業として、政策への関与にフォーカスをしました。国際的なジェンダーギャップのデータからは、日本は政治と経済の 2 つの分野で格差が多く、諸外国との比較において 146 カ国中 118 位（世界経済フォーラム、2024 年）と改善されていません。また、国内では静岡県は政治分野で 17 位（地域からジェンダー平等研究会、2025 年）です。ちなみに行政は 38 位、教育は 37 位、経済は 42 位という結果が出ています。

女性キャリアアップ事業の内容としては、静岡県浜松市、静岡市、そして富士市の三市の現職市議会議員の方々にインタビューを行い、三市の比較において市議会の女性議員の課題について考えることにしました。結果はレポートにまとめられますが、各議員から多様な意見を聞くことができ、インタビューだけに留めず、今年度は、ご協力いただいた議員の方々を囲んで座談会を開くことを計画しています。静岡支部の活動が、市民の方々にもっと議会が身近になり、政治に関心を持っていただいて、投票率のアップ、女性議員増となるきっかけになれば幸いです。

国際交流では静岡県立大学のリトルワールドキャンプへささやかな協力を続けています。今年度も活発に意見交換をし、支部活動を充実させていきましょう。よろしくお願いいたします。

静岡支部長 山下いづみ

Report 1

女性のキャリアアップ事業 2024 年度 議員インタビュー 山本 みゆき



日本では女性議員の数が諸外国に比べて非常に少なく、政治に女性の視点が欠けてしまうということが言われて久しいのですが、ここ静岡県においても、特に静岡市などは、2024 年時点では、政令指定都市の中で女性議員率が最も低いというのが現状でした。

そこで大学女性協会静岡支部では、「2024 年度女性のキャリアアップ事業」として県内の女性議員にインタビューをし、どのような要素が女性議員の進出を阻んでいるのか等について意見を聞くことを企画しました。方法としては、静岡県の東部では富士市、中部では静岡市、西部では浜松市の 3 か所の自治体を選び、そこで現在活躍している市会議員の方に「市議会において女性の議員を増やすことの意義」「女性のキャリアアップに、議員としてどのように取り組むか」「議員として活動しているなかで大変だと感じたことは」「議員として、もっとも力をいれて取り組んでいることと、その取り組みに関して、ダイバーシティを意識したことがあるか」の 4 点について質問をしました。

インタビューの中では、男性が議員をやる中では見えて来なかった、家族との関係性をどうつくるかの課題などが語られました。一般の社会でもそうですが、特に政治の世界では、これまで男性たちが家庭を女性に任せきりにすることで仕事が成り立ってきた部分が大きいとい

うことなどがわかりました。

人にはいろいろな人生の時期があるため、常に 100%の力で仕事をして社会に貢献できるとは限りません。特にそれが女性の場合には、介護、育児などの時期に女性がその大変さの殆どを担うことがよくあります。一般社会と同様、政治の仕事においても人生の大変な時期には守られるような仕組みをつくる必要があるのではないかと考えさせられました。いやむしろ、一般市民の代表である政治家だからこそ、そのような弱い部分を持つことで、人々の実感を反映した政治を行うことができるのかもしれない。

その一方で、特段「女性」を増やすということにこだわらないという意見もありました。確かに現状では、男女比は偏っていますが、それが「できれば女性を選ぶようにしたい」ということになってしまうと、これもまた人を見ないで属性で判断することになってしまいます。これまで政治に限らず仕事の上で、「女性にはできない」「男性の方が向いている」と思い込んでいたことが、一つひとつ解決できる課題であることがわかり、性に関係なく自由に選択できるための一歩としてこの調査の学びを生かすことができたらと願っています。

Report 2

リトルワールドキャンプに参加して

林 幸子

大学女性協会静岡支部と静岡県立大学リトルワールドキャンプ実行委員会とのかかわりは、2011年の多文化共生助成事業の時からです。リトルの活動は、毎年8月に小学4年生から6年生を対象にキャンプをします。又、静岡に住む外国とつながりのある子ども達と日本人の子ども達との相互理解を深めるため、小学生を対象にいろいろなイベントを企画実施しています。私達 静岡支部は、支援応援しております。

2024年2月18日、リトルはJR清水駅前にある「静岡市こどもクリエイティブタウン “まある”」で「みんなで作ってカーニバル」をテーマに、大学生と小学生が一緒になって身近にある材料を使って、楽器作りをしました。カーニバルに必要な楽器は、タイコ、マラカス、カスタネット、ギロ、タンバリンで小学生達は、思い思

いに自分流の楽器に仕上げてくれました。みんなで練習し、最後はサンバの曲を演奏しました。子ども達の瞳は、きらきら輝き、元気いっぱい素晴らしかったです。



Report 3



大人の遠足 浜松花博に参加して 大塚 佐枝美

2024 年 6 月 1 日（土）、佐藤和枝さんからの誘いに、久しぶりの観光に喜び勇んで出かけました。【浜名湖花博は、2004 年に行われた第 21 回全国都市緑化しずおかフェア「浜名湖花博」から 20 周年を迎え、記念事業として「浜名湖花博 2024」が開催されたものです。このイベントは、浜松市のフラワーパークと浜名湖ガーデンパークを拠点に、自然、テクノロジー、人々をつなぐテーマで行われました。】

浜松駅に集合し、佐藤和枝さんのお車で参加者の山下さん、勝又さん、バレリーさん、大塚の 5 名は浜名湖ガーデンパークまで移動しました。

印象に残ったのは何と言っても印象派庭園、モネの庭は 20 年前に訪れていました。睡蓮やアーチ型の橋、そしてその周りを囲む自然が 20 年前そのままに変わらず存在していることに驚きと同時に絵を見てきましたが、モネは同じ対象を繰り返し描き続けました。その姿勢は、彼の深い探究心と対象への愛着を強く感じさせるものでした。浜松ガーデンのモネの庭も時を超えて未来に生き続けるのではないのでしょうか？

そして昼食は緑陰に座ってフレンチレストラン、エディブルフラワーを使用した特別メニュー。勝又さんと山下さんは列に並んで？時間。その間に佐藤和枝さんとバレリーさんのお話は感心することばかり。バレリーさんの越し方はそのまま記述しておきたいとは思いましたが、再度詳しくお聞きしたいと…

佐藤和枝さんお持ちになった「三遠南信 Biz」という情報誌は、長野県南部、静岡県西部、愛知県東部を結ぶ三遠南信地域の起業家やビジネスパーソンをつなぐ役割を果たしているようです。



佐藤和枝さんは今年度の静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞を受賞されたとのこと。「1991 年に浜松市において、働く女性のためのネットワークづくりを目的とした異業種交流会を初めて立ち上げた。また、2002 年に発足した浜松商工会議所女性会の初代会長を 3 年間務めるなど、長年にわたり男性の多い経済分野において活躍している。女性起業家としての自身の経験を踏まえた起業支援や、NPO 法人未来化プロジェクト代表理事として、女性の昇進意欲についての事例調査や提言等を行うなど、精力的に活動し、ロールモデルとしての役割を果たしている」との推薦理由です。

出世城と言われた浜松城を象徴するような方たちと出会いました。花々に囲まれ、感動的で刺激的な大人の遠足。佐藤和枝さんありがとう。そしておめでとうございます。

女性議員の増加 勝又 幸子



支部新年会（2月1日）会場で出馬表明された田中志保さん（前列中央）

去る 2025 年 3 月 23 日静岡市議会議員選挙があり、支部会員の佐藤成子さんが駿河区から 6 期目の当選をはたされました。おめでとうございます。

改選前、静岡市は政令指定都市のなかで女性議員が最も少ない状態（6.3%）でしたが、今回立候補した 9 名の女性全員が当選したことで、女性議員比率は 3 倍の 18.7% になりました。（6 名は初当選）「有権者が多様性のある議会を求めた結果」と報道されました。

2014 年シングルペアレント 101 を設立して活動されてきた田中志保さんは、静岡支部でお話いただいたことがあります。葵区で初当選されました。チェンジングしずおかプロジェクトを掲げて、後援会なし、事務所なし、選挙カーなしの新しい選挙運動を展開されました。